

『アブラナ科の黒腐病対策』

9～10月はキャベツ、ハクサイ、ダイコン、ハボタンなどアブラナ科で黒腐病が発生しやすい時期です。多発すると防除が困難になるので、発生前から対策をしてください。

《病徴》

主に葉に発生し、まず下葉から発生します。葉の縁からV字形または丸みのある不正形に黄化し、葉脈が黒く変色します。病斑は次第に拡大していき、古くなると乾いて破れやすくなります。激発時には結球葉にも進展する場合があります。



写真1 キャベツ黒腐病

《発生条件》

比較的低温を好む土壌伝染性の細菌で、雨滴により葉上に運ばれて葉の周辺部の水分を排出する孔や傷口などから侵入するので、9～10月頃が低温多雨の場合に発生が多くなります。

特に台風や秋雨が続く場合に発生しやすいので要注意です。

《主な対策》

- ・病原細菌は被害を受けた茎葉や土中で生存しているため、被害のあった畑は残渣を除去する。
- ・アブラナ科の連作を避ける(輪作期間は2年程度)。また、ナズナなどアブラナ科雑草も発生源となるので除草を徹底する。
- ・葉の傷口から細菌が侵入するので、虫害にも注意を払う。
- ・発生する恐れがある場合は黒腐病に耐性のある品種を作付けする(写真2)。



写真2 同一圃場での耐性の品種差

《薬剤散布》

- ・予防散布を重点に行う。台風後や大雨後は発病してなくても速やかに防除を行う。

キャベツ黒腐病登録農薬

令和3年9月現在

農薬名	希釈倍率	使用量	使用時期	使用回数	使用方法	有効成分	FRAC
バリダシン液剤5	800倍	100～300 L / 10 a	収穫7日前まで	5回以内	散布	バリダマイシン	U18
カスミンボルドー	1000倍		収穫7日前まで	4回以内		カスガマイシン	24
コサイド3000	2000倍		制限無し			銅	M1
マスタピース水和剤	1000～2000倍		収穫前日まで	制限無し		シュードモナスロデシア	微生物
アグレプト液剤	2000倍		収穫14日前まで	2回以内		ストレプトマイシン	25
オリゼメート粒剤		6～9 kg / 10 a	定植時	1回以内	全面土壌混和及び作条(畝)土壌混和	プロベナゾール	PO2

※例としてキャベツの黒腐病登録農薬の一部を掲載しています。農薬散布の際はラベル等で適用作物を確認し、登録内容に従って使用してください。

※店舗により在庫や取り扱いの無い薬剤もあります。ご了承くださいますようお願い申し上げます。